

2024.2.13 策定  
2026.2.9 変更 「中期経営計画2028」の目標数値の上方修正

多木化学グループ

# 「中期経営計画2028」

Taki Chemical Vision2050

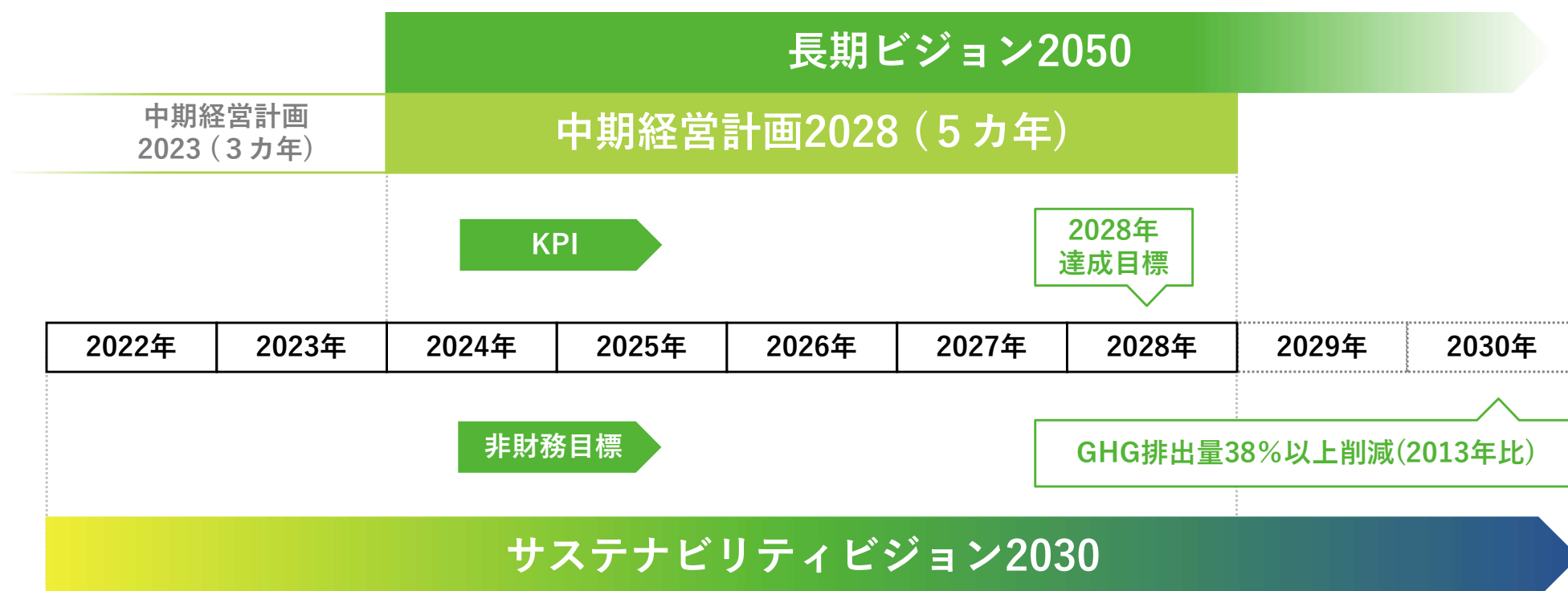


# 「中期経営計画2028」

## 1. 概要

### ■ 「中期経営計画2028」のスケジュール

- ・ 「中期経営計画2028」の達成目標および推進項目は「長期ビジョン2050」からバックキャスト
- ・ 非財務目標については「サステナビリティビジョン2030」に基づき、気候変動への対応や人的資本への投資などを推進



# 「中期経営計画2028」

## 2. 基本方針

### 成長事業への積極的投資と 新事業の創出

#### ライフサイエンス

- ・医療用材料事業の拡大
- ・コラーゲン事業の確立
- ・バカマツタケの事業化



#### 機能性材料

- ・ナノ材料の拡販
- ・技術革新による新用途、新商品の開発
- ・環境配慮型、社会課題解決型製品の新規開発



#### M&A、海外進出

- ・業務提携による事業拡大
- ・資本提携による多角化
- ・海外市場の開拓



### 既存事業の深化による収益力向上

#### アグリ事業の継続力強化

- ・生産・販売・在庫の最適化
- ・モーダルシフトの推進
- ・環境配慮型製品の開発
- ・アグリ関連新事業への進出



#### 水処理事業の新展開

- ・超高塩基度PACの市場浸透
- ・新たな環境配慮型凝集剤の開発
- ・原料の安定調達とコスト削減



#### 不動産事業領域の拡大

- ・コンパクトシティ化
- ・リノベーション事業および  
フランチャイズ事業への進出検討





# 「中期経営計画2028」

## 2. 基本方針

### サステナビリティ・トランスフォーメーションの実践

#### 気候変動への対応

- ・省エネルギーの推進
- ・再生可能エネルギーの導入
- ・サプライチェーンを含めた温室効果ガスの削減
- ・気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)への対応



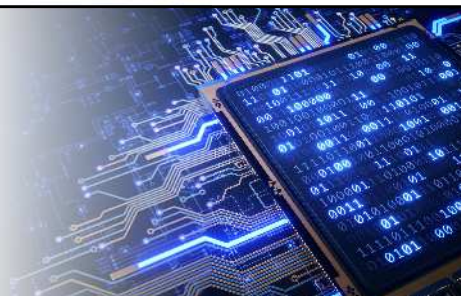
#### 人的資本経営の推進

- ・平等な機会提供と女性活躍の推進
- ・個別キャリアパスの構築と成長促進
- ・継続的スキル開発と最新知識習得のサポート
- ・円滑なコミュニケーションとフィードバック文化の構築
- ・従業員エンゲージメントおよび職場環境の向上、健康経営の促進



#### DXの推進

- ・RPAの活用および生成AIの導入による業務効率化
- ・ITリテラシーの向上
- ・ICTによる情報発信の多様化



### GRCの推進

#### G：ガバナンス

- ・取締役会の実効性の向上と独立性の確保
- ・適時適切な透明性の高い情報開示の徹底
- ・監査等委員会との連携による監査、監督機能の強化
- ・ステークホルダーとのコミュニケーションの充実
- ・地域社会への貢献



#### R：リスク管理

- ・リスクマネジメント体制の強化
- ・定期的なリスクの見直しによるリスクマップの更新に基づく対応
- ・BCPに基づく事業継続性の強靱化
- ・情報セキュリティの強化



#### C：コンプライアンス

- ・強固なコンプライアンス体制の確立・浸透・強化
- ・内部統制システムの実効性の向上
- ・法令、規制変更への迅速な対応
- ・社内通報制度による問題の早期発見と自浄作用の強化



# 「中期経営計画2028」

## 3. 「中期経営計画2028」でめざす姿

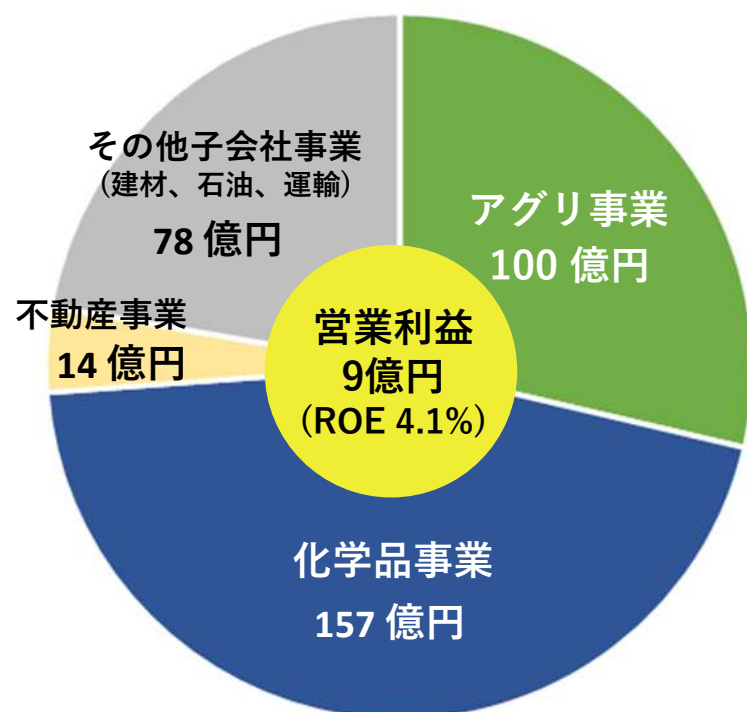
### ■セグメント別業績目標

修正前の達成目標 (2028年)	売上高 420 億円	営業利益 30 億円	ROE 6.0 %以上
上方修正後の達成目標 (2028年)	売上高 440 億円	営業利益 35 億円	ROE 7.0 %以上

\* 2026.2.9 達成目標を上方修正

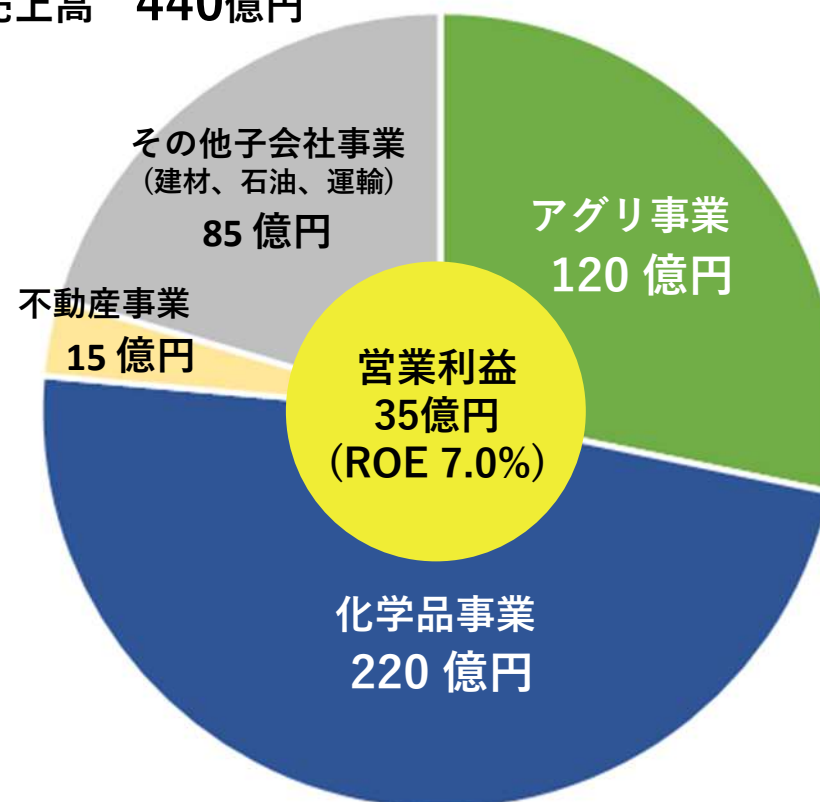
2023年実績(連結)

売上高 349億円



2028年達成目標(連結)

売上高 440億円



# 「中期経営計画2028」

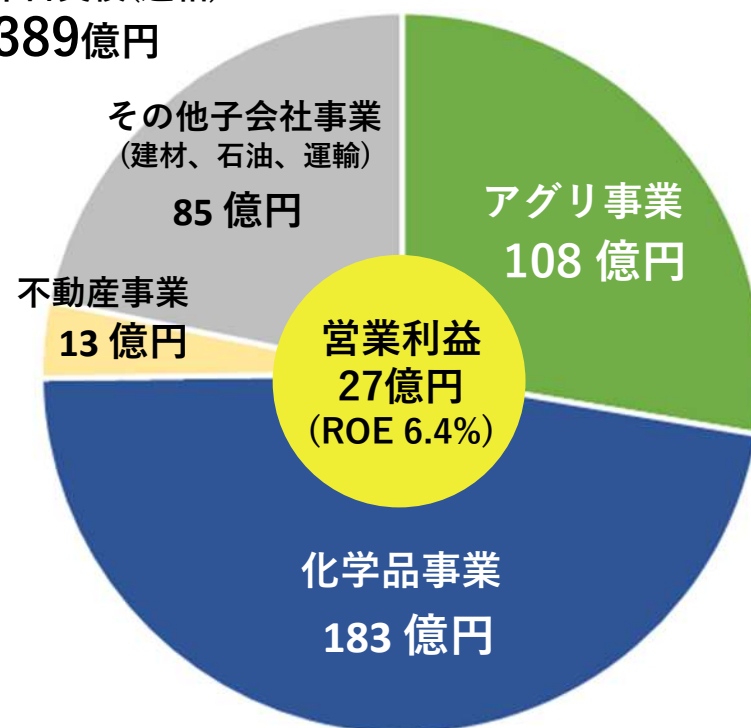
## ■「中期経営計画2028」の目標数値の上方修正（2026.2.9）について

初年度および2年目の業績は、肥料および水処理薬剤の販売数量の増加、原料価格の上昇に伴う販売価格の値上がりが進んだことに加え、各セグメントの事業が堅調に推移したことから、当初想定を上回る結果となりました。最終年度についても、成長戦略の一環である「水処理薬剤の生産能力増強」に伴う増販などが寄与し、当初目標を上回る見通しとなったことから、売上高および営業利益、ROE（自己資本利益率）を上方修正いたしました。なお、上方修正にあたり、基本方針（「成長事業への積極的投資と新事業の創出」、「既存事業の深化による収益力向上」、「サステナビリティ・トランスフォーメーションの実践」、「GRCの推進」）に変更ございません。

積極的な成長投資による「稼ぐ力の強化」と、適切な資本政策による「効率性の追求」を両立させる方針のもと、持続的な企業価値向上に邁進してまいります。

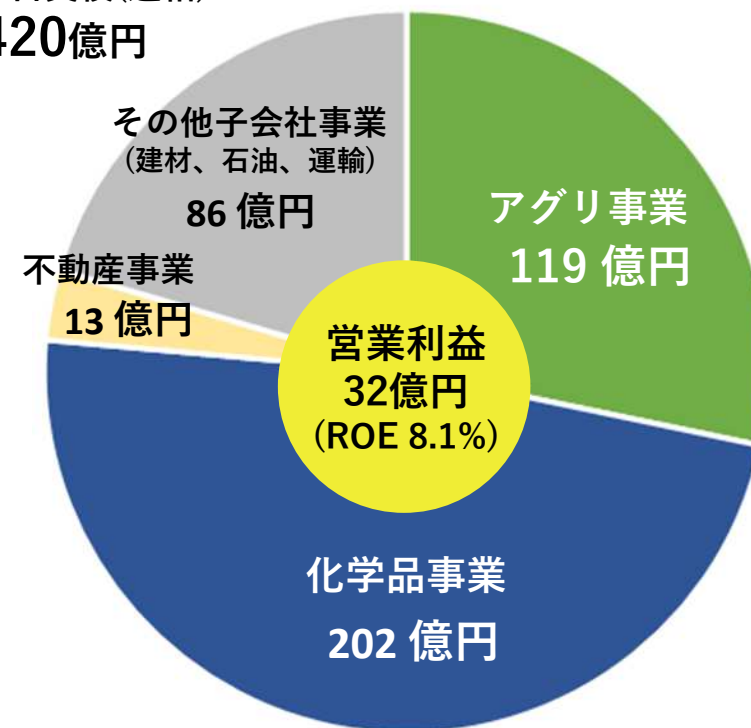
2024年 1年目実績(連結)

売上高 389億円



2025年 2年目実績(連結)

売上高 420億円







# 多木化学株式会社

本資料は当社グループについて理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としておりません。また、本資料に含まれる将来の見通しに関する内容は、現時点での仮定に基づくものであり、不確定な要素も含まれております。実際の見通し内容は、様々な要因の変化などにより、異なる場合がありますことをご了承ください。